

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公開番号】特開2013-65838(P2013-65838A)

【公開日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-187559(P2012-187559)

【国際特許分類】

H 05 K 3/10 (2006.01)

H 05 K 3/02 (2006.01)

H 05 K 3/14 (2006.01)

H 05 K 3/22 (2006.01)

【F I】

H 05 K 3/10 D

H 05 K 3/02 A

H 05 K 3/02 Z

H 05 K 3/14 A

H 05 K 3/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非導電性材料を実質的に含まない基板上に第2のパターンを形成するために前記非導電性材料を用いて前記基板上に第1のパターンを印刷する印刷工程であって、前記基板が、前記第1のパターンと前記第2のパターンとを本質的に含む表面領域を有する、印刷工程と、

前記第2のパターンを覆う前記導電性材料が、前記第1のパターン内に塗布された前記非導電性材料を覆う前記導電性材料から電気的に絶縁された導電体として機能できるようにするために、前記第1のパターンの前記非導電性材料と、前記非導電性材料を本質的に含まない前記基板と、を覆うように前記基板の前記表面領域に導電性材料を真空蒸着によって塗布する塗布工程と、

前記真空蒸着前及び前記真空蒸着中で、前記非導電性材料の軟化点温度より高い温度で、前記基板及び前記非導電性材料を加熱する加熱工程と、

を含み、

前記非導電性材料が、乳化凝集トナー及び相変化インクのうちの1つを含む、基板上に導電体を形成する方法。

【請求項2】

前記基板上の前記第1のパターンの非導電性材料を溶解し、前記第1のパターンを覆っている前記導電性材料を除去する溶剤を塗布する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記非導電性材料及び前記導電性材料は前記基板の第1の面に塗布され、前記溶剤は前記基板の第2の面に塗布される、請求項2に記載の方法。